
愛の言葉

アキ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

愛の言葉

【Nコード】

N3059Q

【作者名】

アキ

【あらすじ】

一人称で語られる。
一人の男の後悔。

（前書き）

試験的な恋愛物（？）の短編。

「あいして、います」

たった7文字。

そう、たった7文字。

時間にして、1秒も使わない言葉。

彼女が俺に言っただけだと、何時も言っていた言葉。

「……愛、しています」

恥ずかしさから、片手で数えるほどしか伝えられなかった言葉。

彼女へ伝えた瞬間に、花のような笑顔を見せてくれ言葉。

彼女から伝えられた瞬間に、心が満たされて幸せな気持ちになれる言葉。

「……愛して、います」

ようやく気づいた。

7文字の重さに、ようやく気づいた。

けれども、

「……愛して……います」

伝える相手は……彼女は……もう、この世にはいない。

天涯孤独、視覚障害による盲目。

そんな彼女は、何よりも気持ちが入められた言葉を欲していた。

なのに、俺は恥ずかしいという理由だけで、彼女の願いを叶えて上げられなかった。

「そこが、貴方らしいんですね」と苦笑する表情の中に、悲しみがあつたことを今なら理解できる。

後悔が俺を内側から壊そうとする。

いつでも言える機会はある。

一緒に出かけた時、

一緒の眠る時、

一緒の時間をすごした時！！

でも、言えなかった。

いや、言わなかった。

恥ずかしいという、気持ちだけで！

今なら言える。

「愛しています」

どこでも言える。

「愛していますー！」

溢れんばかりの気持ちを込めて言える。

「世界中の誰よりも、愛しています！」

でも、

だけでも、

それは、あまりにも遅すぎた。

（後書き）

連載している作品が煮詰まっております、

「気を紛らわすために書いた&私的な感情論で書いた」

そんな作品なので、支離滅裂かと思いますが許して……。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3059q/>

愛の言葉

2011年1月26日03時42分発行